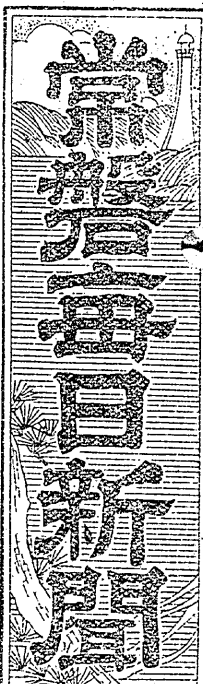


刊夕日三十月二



定価 一冊五銭 一月五拾五銭 三月一拾五銭 半年二拾五銭 一年四拾五銭
 印刷所 常磐毎日新聞社
 社址 磐城平町五丁目
 電話 六三〇
 支店 仙台 盛岡 水戸 宇都宮 東京

日本佛教史點景

眞繼 雲山

日本は神武建國以來、二千五百年といふ古い歴史を有するが、文學、宗教、藝術など文化の花が開いたのは、推古朝佛教傳來以後の話である。

聖徳太子が有名な三經義疏をつくり給ふてから約百年後に古事記その他が編纂されたとあるから、佛教はたしかに日本文化の母であつた。

その文化を表象した古建築の一として奈良の法隆寺が残つてゐる。その建築は今からザツと千三百年の昔に屬する。日本の文化史はこの千三百年の行程である。日本歴史の重要部分はこの間に盛られてゐるのであつて、千年の月日は短いやうでも随分長い。この間にはいろいろの出來事があつた。

西國三十三所の觀音靈場は、日本佛教の開闢についで起る。成るほど靈場といはれるだけに、その緣起は古く、聖徳太子の開闢にかゝるものも少なからぬ。太子の直接の開基でないまでも概ね同時代の草創にかゝる。

史を按ずるに西國三十三所は人皇六十五代花山天皇

が法皇となり給ふての後、親しく巡禮として撰擇せられたものと傳へらるゝ。従つて西國靈場は何れも花山院以前、即ち今から約九百年以前の創建であることが分る。

その靈場が草創當時のまゝで残つてゐるとしたならば、奈良法隆寺と甲乙なき國寶が今日も多分に存する筈であるが、惜しいかな殆んど一つも残つてゐない。何れも炎上して後の再建に屬する。これによつて人間の壽命は五十年、建築物の壽命は千年を越ゆるもの古來稀れといふことになる。されば弘法大師も遺言して「高野の山は一千年、時の代間に從へ」と光見の明を示しておいたといはれる。

西國靈場を初め、當年の名刹佛閣は、何れも元龜天正の戦亂を中心として兵火に焼かれてゐる。そのうちでは織田信長の焼いたものが一番多い。彼れは勝つことのために何物をも顧みなかつた、それでこそ強かつた譯である。

尤も今日のやうなお寺なら、殊更ら無理に焼く必要も無かつたであらうが、當

時は名刹を中心にして僧坊幾十百をつらね、大軍を進むるものは何れもこの坊舎を本陣として轉戦し、三十三番の札所近江觀音寺城の如きは佐々木氏十餘年間の居城であつたといはれる程で、自然お寺か城か分らぬ位であつたから、従つて兵火を免れなかつたものと思はれる。

併し如何に勝つたためといへ、寺を焼いて功德があるとは思はず、最も多く「神社佛閣を破却したる」織田信長は、明智光秀の宣言を待たずとも、本能寺に悲壯な最後を止むるに至つたことは、固より因果の理數の誤りなきを示すものと言ひ得やう。

豊臣秀吉も破却せぬではなかつたが、その代り建立もして罪障の埋め合せをしてゐる。殊に慶長八年頃を中心にして秀頼が片桐且元その他を奉行として神社佛閣を再建築進してゐる數は全國に亘つて、その數甚だ多い。後醍醐天皇、長慶天皇の祈願文が、南都野山等の名刹に今も尙ほ残つてゐる等の史實に考へ合はせると、當年の秀頼が天下恢復のため、如何に神佛の冥護を祈り待ちしかといふことが忍ばれて痛ましい。而かもその甲斐なくして大阪城

頭の煙と化し去つたことは、それが何としても免れ難い宿因の道であつたと見るの外はない。

外科

門 專 X
科 線 光

上田外科醫院

平町南町
電話二一九番

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
 □確實敏捷は久の生命なり

器灸温ムウチラ

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

特卸治 福島縣平町五ノ廿八
 約代理 志賀齒科醫院
 販理療 福島縣平町白銀町九
 賣部部 産婆 關口 悦子

定價表
 金拾參圓 藥及特効サ五週間分付
 金拾圓 藥及特効サ五週間分付
 金拾圓 藥及特効サ五週間分付
 (説明書呈)

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

關内藥局

度量衡、計量器、吸入器、酸素、酸素吸入器

電話四〇番

毛糸

春向新色澤山入荷致しました
 御値段は 一オンス十五銭

三毛糸

馬場 三毛糸店

鈴木候補を落すなと

堀切次官が應援

政戦終りに近い十八日夜

平と内郷で獅子吼

愈々第三期に這入つた石城郡の政戦は今や各候補とも必死の猛闘に移り就中腹背に敵を受けて非常の苦戦に陥つた鈴木候補は言論第一主義に始終し連日数ヶ所に演説會を開き十四日午後六時から平町第三小學校で開き更に十八日午後六時半町聚樂館並に内郷村に最後の氣勢を揚げる筈であるが當日は大藏省政務次官堀切善兵衛氏が鈴木候補のため來援現内閣の積極政策を高唱し一大獅子吼を試みる筈である

村十名乃至二十名を兩總裁の名を以て二千五百餘名を任命した監視員は十五日頃より入り亂れて選挙の公正を監視する筈で各方面からその活動が興味視されてゐる

局批判演説會を開催したが同會は政治、調査、組織、宣傳、教育、出版、財政の各部を設け大いに町政の革新を計ることゝなつた

各派舌戦

明十四日

湯本町政 革新協議
昨日團體結成
元全勢大衆黨石城支部書記長高橋忠弘氏を主腦とする湯本町政革新協議會は十二日午後二時から湯本町公會堂に發會式を舉げてつて時

△鈴木候補、湯本、好間、内郷宮、平第三校
△佐藤候補、好間、内郷、平
△比佐候補、澤渡、合戸、大利、好間

立會演説に

候補者不參

石城郡内郷村報社主催で十四日午後一時から同村磐城劇場で第三區立候補者の立會に政見聴聞會が開催される政友佐藤、鈴木民政、氏家候補は事故都合で不參各派共に

監視を設置

その活動は

興味視さる

石城政民兩部會では今回の政戦に監視員を設けることになり十二日より各派

推肥講習の修了式

本郡下の修得者氏名

既報縣農事試験場の堆肥増殖改良指導員養成講習會は去月廿七日八日の兩日神谷農事試験分場に於て郡山本場辻技師農務課田中技師の講師で行はれ是れが修了式は昨日神谷分場に行れたが本年は出席者多く縣下の良成績で本郡下の修了者左の如し

鯨岡莊七 沼田秀吉(平)
緒方賢一郎 多島一(四倉) 草野重雄 福田貞藏
關場長多 中村敬二(平)

(窪) 加茂勳 加茂正嗣
蛭田喜一(勿來) 齋藤富七
男 田子辰雄 川島要
(澤渡) 國井哲郎(渡邊) 中根初太郎 箱崎惣治 佐藤勝久(神谷) 岡田市太郎
愛川勇英(大浦) 久野直太郎 高木操 鈴木虎之助
(大野) 猪狩興作 志賀文平 鈴木重郎(高久) 鈴木定七 松本明(赤井) 飯島政雄 片寄義平 北郷邦滿(草野) 齋藤康夫 志賀滿(好間) 野崎重(江)

名) 小野善秋 鹽濱英
(飯野) 野口金治(永戸) 鈴木喜男 平子清一 小澤清一(入遠野) 遠藤延夫 遠藤正雄(箕輪) 黒木英泰 三島五一郎(鹿島) 木村武彦 草野昇(上小川)

し最後に残された八幡小路地内の高架水槽も三月中旬までには工事完成し四月から通水の運びを見るので町當局では現在臨時水道部に採用してゐる技手、書記、工夫約三十餘名を三月末限りで撤する事となつたが、その中四五の技手並に書記は水道課へ轉職する模様である

高値に刺戟され

木炭製産止まず

東京の間屋筋は在庫品多く 俄かに製品整理

濱三郡木炭同業組合員の去月中に於ける製炭検査俵数は石城が十四萬四千百卅九俵、双葉が十一萬七千九百四十三俵、相馬が三萬四千六百九十三俵、合計廿九萬六千七百七十五俵で昨年同期の十八萬二千五百九十八俵より一躍十三萬餘の激増を見たが是れは組合員の製品優良な爲め東京方面に歡迎取引され製産能率が急激に高調を示したものであるが最近では木炭の需要期の大半を經過して居るに拘らず高値に刺戟され益々製産増の傾向なので東京の各問屋でも流石に抱へ込み品が多く三四錢の安値を現して來た結果各製産者は俄かに製品の整理を考慮し初めて居る

國防充實決議

玉川郷軍分會で

石城郡玉川村在郷軍人分會では去る十一日の紀元節に際し國防思想普及講演會を小學校に開き分會員及び男女青年團等三百余名參集山齊歩兵少佐の軍事講演あり左の如き決議をなした

△支那全土に漲る排日侮日の行爲に對し吾が居留民の生命財産を擁護し尙且

平町人事

回出生

△材木町一 矢口峯三郎氏

△南町五一 當時相馬郡石神村字町後水谷登氏三女
ヤイ子
△番匠町四 米倉文治氏二
△材木町一 矢口トシ(一ツ)

鈴木辰三郎氏を推薦す

拜啓 貴下益々御清榮奉慶賀候陳者此度の選挙に際し鈴木辰三郎氏を推薦せんとするは當に同氏が本郡に於ける我が黨唯一の公選候補者たるのみならず更に他の理由の存するものに有之候

御承知の通り同氏は夏井村の農家に生れ獨學自修研鑽忘らず年齒僅か貳拾代にして郡會議員に擧げられ更に縣會議員に當選する事數次今や縣政を統帥する名幹事長として其の才幹は吾人の等しく認識する處にして同氏の聲望旭日昇天の概あるは如何に同氏の手腕力量が尋常一様の器に非ざる事を雄辯に物語る證左にして榊檀は二葉より芳しとは正に同氏を適評するものに候

實に同氏は獨立獨歩幾多の困難と戦ひ刻苦勉勵今日の地步を得たり、然れども同氏の眞價は過去に非ずして未來に屬す蓋し過去の經歷が將來を豫斷する最良の羅針盤なりとせば同氏の將來の發展向上も略々想像に難からず候

況むや同氏は前途春秋に富む有爲の士なれば一度議政壇上の人たらんか平々凡々月並の一陣笠として埋るものに非ず必ずや天下に『鈴木』ありとの存在を明かにし繼て驚天動地の仕事をなし貴下の御負托に背かぬ事必定と存候、夫は同氏を親しく熟知する人の何人も同感とするところ、而も同氏は仁俠に富み滿身は熱血と熱の結晶にして政治家としての天才的素質は十二分に具備するものに候

小生は同氏の先天的天才を遺憾なく發揮せしめ以て將來ある同氏の前途を有意義たらしめ度敢へて貴下の尊き一票を懇望する次第に御座候 敬具

昭和七年二月十一日

平町橋樑小路三〇番地

阿部 政右衛門

悲惨

三才の死児を抱え 餓死迫る親子八人

哀れな長橋町の一家

平町長橋町古物行商人礎淺吉(四)の二女花子(三)は十一日大森醫師の診断の結果デフテリアと判命し血清注射を行はんとしたが一家は非常な貧困の爲め醫藥の途なく同醫師は同情の餘り注射二本の施療をしたが其後の薬餌に窮し十二日町役場へ救済方を願出たので町役場の浅吉は昨今商賣がなく妻ラク(三)は目下妊娠八ヶ月の身重で働らけぬ上長男武雄(一)長女富美子(九)次男

幸雄(七)三男清三(五)の外前記花子の六名を抱へ家財は全部賣り盡して夜具古戸棚のみとなり月六圓の家賃も一年以上滞り有様で次男の幸雄は過般耳下線炎の爲め矢張り大森醫師の手當を受けたが死亡して居り右醫療代も未拂の儘と云ふ悲惨な事情にあるので町役場も同情し直に花子の注射代を給與したが花子は遂に十二日死亡し一家は死児を抱えて途方に暮れてゐる

平署が検視した

變死事件

溺死と縊死が

其内の最高位

昨年中平署で検視した變死事件は總數百四件で人員は男九十三人、女廿七人、計百十人であるが最も多數なのは溺死、縊死の十七件宛、壓死が十六件、轢死の十一件、倒死が六件其他が三十七件で是れを男女別に見ると左の如くである

溺死	男 一〇	女 七
縊死	男 一	女 六
壓死	男 二〇	女 一
轢死	男 七	女 四
倒死	男 六	女 〇
其他	男 三八	女 九

三萬圓で常磐線掘坂開鑿 湯本驛間の堀坂トンネルは昨今内部の龜裂が甚だしく危険の虞あるためトンネルを切り開くこととなり設計中であつたがこの程完了したのでいよいよ四月七年度に入るを待つて開鑿する豫定である

明日のラジオ
十四日
仙臺放送局

今晚は南よりの風曇り明日は北西の風午前中曇り午後晴れ

今晚の部
後六、〇〇(子供の時間) 獨唱と齊唱 岩手縣花巻町花城小學校児童
後七、三〇 選舉講座「選舉の罰則」司法省刑事局長 木村省達
後八、〇〇 清元「梅柳中宵月」清元梅太夫外
後八、三〇 漫談「インタク」北原英太郎外
後九、〇〇 掛合噺「二人旅」たぬきや金朝外

明日の部
後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組預告
後九、一〇 茶養料理「鮎の照焼三ツ葉の胡麻よごし」茶養研究所
後九、三〇(子供の時間) 歌ビッコロヤ「ポエフル」ト J.O.A.K 唱歌隊
後一〇、〇〇 宗教講話「人間としての釋尊」曹洞宗大本山總持寺西堂栗山

が工費は約三萬圓である
磐崎養蠶組合 石城郡磐崎村字下湯長谷部落及び高久村大字下高久字八幡の兩部落では豫てより新法による養蠶實行組合を設立すべく運動中であつたが兩組合共昨日付を以つて縣へ許可申請をなしたと

川前國防資金
生徒等が寄附
石城郡川前村小學校職員及び生徒は時節柄國防思想の普及を宣傳し其の國防資金を募集中の處十一日五圓の寄附金を村役場に贈呈した

危く虎口を逃れた
家出した若い娘
平署の手に救はる

今朝六時頃平署前を徘徊する女中風の女を平署員が怪しみ事情を聞くと同人は宮城縣仙臺市二十人町佐藤ヨシ(三)と云ふ者で昨今の不景氣で生活に窮し磐城の炭礦方面で一と移せせんものと慢然十二日朝三十圓余の貯金を持つて仙臺を出發し同夕六時頃平署に下車したが初めての土地とて勝手知れず驛前附近をウロウロして居るうち商人風才位の男から親切に話かけられたので誘はれるまゝ某旅人宿に

泊つた處男は自分の知人に紹介して就職させるが知らぬ他人の事だから保證金を積む必要があるからと甘圓を捲上げた上怪しからぬ振まいに出たので青くなつて逃げ出し仙臺に歸へる覺悟で汽車を待つて居たと判明したので平署にて保護を加へ前記不届者を内偵中であるがこれから春にかけ家出娘を誘拐せんとする不良桂庵その他に對し當局では嚴重取締りの手を延べる方針である

平署が昨年中に取扱つた遺失物は現金が四百十二件は金額二千七百八十三圓八十一錢に達して居るが品物は六百三十五箇で是れを金額に見積れば千圓近くとなり一方拾得物は現金五百五十七件は金額千九百九十七圓五十一錢また物品は千六百五十四箇である

平署の取扱つた 遺失拾得の金品
金額は何れも二千圓前後

山崎教諭逝く 縣立磐城高等女學校教諭山崎忠二氏は病氣中の處昨日午後八時十分木村病院にて逝去した同氏は石城郡飯野村前縣議山崎吉平氏の令息にて慶應義塾の國文科を卒業し磐女校に教鞭を執り生徒の信望を蒐め其計を惜まれて

生米研究休止 平穀物検査所では毎月廿五日に行はれる筈の産米の鑑定並に事務の研究會も今月は選舉期間中の事として吏員出張が中止となつた爲め今月に限つて同研究會を休止する事になつたと

平職業紹介所報告
求人入之部
●兒守及雜役 十四五歳、尋卒、年十圓位(渡邊村某)
●女中 廿歳迄、尋卒、月十圓位迄(平町某辯護士)
●女中 廿五歳迄、月三圓外チツブ(小野新町某)
●出前持 廿歳位、尋卒、給料面談(平町某料理店)
●求職之部
●洋服職人 十八歳、高卒、給料面談(湯本町某)
●採炭夫 廿八歳、尋卒、給料面談(愛知縣某)
●雜夫 四十四歳、無學、給料面談(平町某)

仲里警察部長が 平地方を初巡視
新任の仲里本縣警察部長は去る十二日より相馬郡を振

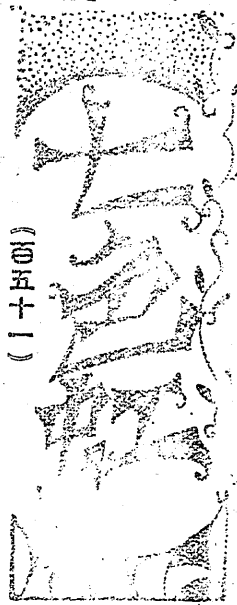
耳鼻咽喉科専門 大和田醫院
平町南町 電一七〇

平職業紹介所報告
求人入之部
●兒守及雜役 十四五歳、尋卒、年十圓位(渡邊村某)
●女中 廿歳迄、尋卒、月十圓位迄(平町某辯護士)
●女中 廿五歳迄、月三圓外チツブ(小野新町某)
●出前持 廿歳位、尋卒、給料面談(平町某料理店)
●求職之部
●洋服職人 十八歳、高卒、給料面談(湯本町某)
●採炭夫 廿八歳、尋卒、給料面談(愛知縣某)
●雜夫 四十四歳、無學、給料面談(平町某)

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院
平町南町 電一七〇

平職業紹介所報告
求人入之部
●兒守及雜役 十四五歳、尋卒、年十圓位(渡邊村某)
●女中 廿歳迄、尋卒、月十圓位迄(平町某辯護士)
●女中 廿五歳迄、月三圓外チツブ(小野新町某)
●出前持 廿歳位、尋卒、給料面談(平町某料理店)
●求職之部
●洋服職人 十八歳、高卒、給料面談(湯本町某)
●採炭夫 廿八歳、尋卒、給料面談(愛知縣某)
●雜夫 四十四歳、無學、給料面談(平町某)

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

未亡人の秘密 (1)

『源ちゃん、千代ちゃん。さア今度はお前たちの番だ。亡父は何と言つて目を瞑つたか覚えてゐるだらうね。一文なしになつて素裸で働いて、金を儲けて、それから綺麗に借金を洗つて、もと／＼通の十文字家に仕上げるんだてえがお前さんたちの方で立派にそれだけのことが仕終せるかね。如何だい。御兩人。能きないなら能きないと言つて下さい。が、此叔父に考へがあるから』

兄妹を列べて置いて、治右衛門が例の軽い調子でこゝう言つた時に、押揃うやうな皮肉らしい微笑さへ顔に浮いてゐた。

『能きないことがあるものです。必と行つて見せませう』

源之助は憤慨したやうな様子で肩を尖らせながらきつぱりと答へた。

『父の遺言ですもの、叔父さんやらない譯にはいかなしいやございませぬか。私だつて人間なら人間らしい赤い血が體中に流れてゐる筈ですわ。弱いながらも自分相當の覺悟と意地だけは持つてゐるつもりですから』

銘々をアテにしないやうにいゝかね。

『まア早い話は義絶……絶交だ。そうして行けるところまで命懸けでやつて貰はうぢやないか』

『いゝです、依頼心を絶たせられて全然孤獨の境遇に投込まれた方が我々は寧ろ幸福なくらいです。』

然うしますと叔父さん。二人はいくらか資本を供給して下さいませうね。少くとも五千とか一萬とか』

と、治右衛門は意外らしい顔をして

『なに、資本……そんな』

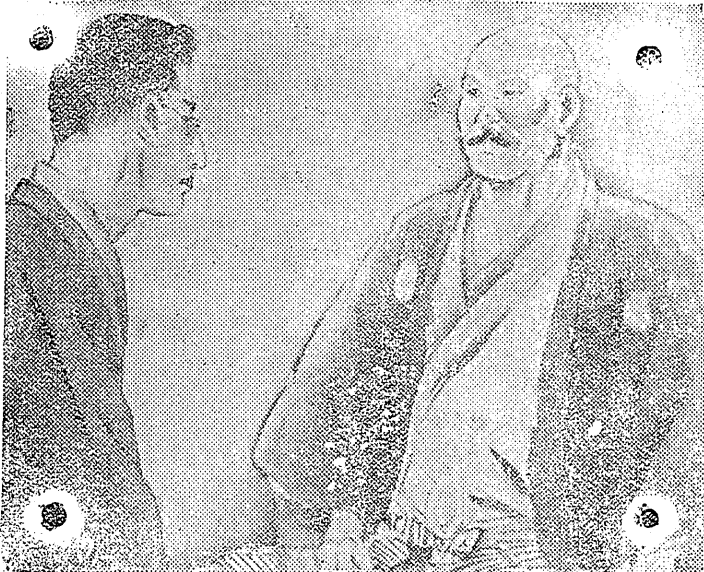
憤然となつた。

『いくら法律上の相続者だつて事實廢家も同然、何の責任もない相続者なら、さう嚴ましく言ふ資格はないさア／＼私に委しときなせよ。』

『悪いやうには計らはないから』

千代子もにこやかに……併し面懨れのした淋しい光の眼のうちに潤ませて静かに呟う言つた。

『ひん、然うか。それだけ』



の決心がついてゐるなら、どんなことでも行り得ないことはあるまい。

ぢやあ恠うしよう。どういふことをお前たちが行らうと、それは銘々の自由として一切私や親戚が關係しないやうに。またお前たちもどんなことが有らうと、

ことを亡父が遺言したかね第一資本を貰つて行るんなら一文なしぢやないぢやないか、素裸ぢやないぢやあないか』

『いや、遺言には無かつたですが目下のやうな經濟状態で、しかも生活上の……』

俺ア、理窟は聞きたくないよ。

内小兒科・花柳病科
藤沼醫院

入院應需

平町五丁目電話七〇番

御用命は總て印刷物の
常警日印刷株式會社
電話六三〇番

井三の
手切商品
番八四三二八

大塚の
學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

木村科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任藥
全國知名新聞 朝日、東京日々、大阪毎日、富士、雑誌 推獎 講談俱樂部、主婦之友廣告御參照
古は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らしむるも絶對胃腸障害なき各藥であります
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日以内服して効なき時は殘藥引換に全部異議なく返金します
性、悪性の人には七日以上服して居ります。慢性、淋病治療書無代進呈(此の新聞各記入申込者に付前金申込者には送料無料、新品送藥す。代金引換三錢手数料金納の事)

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目電話三

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五一三番